

障がい者週間 記念講演会

共に働く地域をつくる

障がい者就労を支える企業と地域のチカラ

講師：鈴木 正和 様（社会福祉法人 北海道光生会 統括マネージャー）

参加費
無料

日 時 令和7年12月6日(土) 13:00～15:00

会 場 総合福祉センターぽぷら
(美唄市西3条南3丁目6-2)

※ 広報メロディには会場は美唄市民会館と記載しておりましたが、運営の都合上、総合福祉センターに変更となりました。

● 基 調 講 演 ： 鈴 木 正 和 様

● パネルディスカッション：

「障がいのある人が“働き続ける”ために必要な支援とは」

高 倉 和 也 様（株式会社Mt. 就労継続支援B型事業所 Mt.Works 管理者）

他

事前のお申込みは不要です。直接会場にお越しください

美唄市障がい者等理解促進 研修・啓発事業

主催 美 唄 市

お問い合わせ

主管 美唄市障がい者基幹相談支援センター こもれび

TEL 080-2871-0261（平日:09:00～17:00）

毎年12月3日～9日は 障がい者週間です

障がい者週間（毎年12月3日～9日）は、法律により障がいのある方への理解を深めるために設けられた期間です。

知的障がいや発達障がい、精神障がいのある方の中には、人とのかかわりあいやコミュニケーションが苦手な方もいます。

障害があるからといって特別視せずに、誰もが社会の一員であることを認識し、少しの配慮でお互いに安心して暮らせる社会の実現のため、自分ができることを一緒に考えてみましょう。

肢体不自由

上肢や下肢に切断や機能障害がある人、座ったり立ったりが困難な人、脳性まひなどの方がいます。

- ・スロープ、自動ドアなどの整備
- ・移動を手伝う
- ・代わりに物を取る

発達障害

自閉症、アスペルガー症候群などの広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など、脳機能の障害で、いくつかの障害が重複していることも多くあります。

- ・丁寧な説明、具体的な表現
- ・別室を用意する

聴覚・言語障害

音が聞こえない人と聞こえづらい人がいます。さらに、言語障害を伴う人と、ほとんど伴わない人がいます。コミュニケーションに困る場合があります。

- ・文字や絵を使った情報提供
- ・手話、筆談、口話

精神障害

統合失調症、うつ病などの精神疾患により、精神症状や身体症状が現れる場合があり、日常生活や社会生活のしづらさを抱える障害です。

- ・丁寧な説明、具体的な表現
- ・他人の視線を遮断する仕切り
- ・穏やかな対応

視覚障害

全く見えない人と見えづらい人（光がまぶしいなど）がいます。歩行や読み書きなどに困る場合があります。

- ・点字ブロックなどの整備
- ・肘につかまってもらい、誘導する
- ・読み上げ、点字、代筆

内部障害

7種類（心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能）の機能障害があり、ペースメーカーなどの使用、排せつ口（ストーマ）の増設、人工透析をしている人、疲れやすく長時間の歩行や作業が困難な人などがいます。外見からは障害があることが分からない人が多くいます。

- ・座って順番を待てる受け付け
- ・多目的トイレの設置

知的障害

知的機能の発達の遅れにより、コミュニケーションや日常生活に困る場面があります。

- ・資料にルビをふる
- ・ゆっくり、丁寧な説明
- ・具体的な表現